

和が国の自然観



高天が原

↑青空

↑太陽



↑青空

↑太陽



ののさま偉大

↑ほっこり

↑ののさま

ののさま (実体)

ほっこり (実体)

ののさま偉大 (聲のみ)

庭王の木と葉



庭王 (詳細・庭王後述)

庭の構の木と葉

ののさま

ほっこり



この「三身一体」の「二話十四」

十年前に「三身」は現れてみたが

その「三身一体二話十四」は

令和七年九月十八日 (十一月七日)

木と葉と家



庭王の木と葉

ののさま (実体)

ほっこり (実体)

東和の家

ののさま偉大 (実体)

平和

平和 || 二ハノロ · 十 ノーレ

|| 庭 の二二 · 二二の一四

|| 庭 の三一 · 十八の一四

|| 庭 の王 · 東和の一四

十
二

平和

ののさま (木)

ほっこり (葉)

ののさま偉大 (東和二話)

(計 || 一四話)

ほっこり (冬期 · 土の葉)

平和

平和 || 平

口 禾

|| 一十 ハ三一イ大

|| 一二二口十二偉大

|| 一ロ ハ十二偉大

|| いろ は十二偉大

ののさま
ほっこり
ののさま
偉大

四体

上記の平和 || 三体 であるから
真の「平和」ではない
真の平和 || 四体 である

真の「平和」を求めて いざ！



天地之詞

あめつち
ほしそら
やまかわ
みねたに

二
三
四

一
一
一
一

雲霧
室苔
人犬
上末
③七
②六
①五
た江
な於
あ阿
は
さ宇
ら

天 || お日さま
地 || 青空
|| ほっこり
之 || ヘノ二
|| 二二の二
|| 十六の二
|| 東和の二

(縦直し)

ののさま
いろは八
二体
ののさま
いろは十二
三体
偉大

四体

江乃。於
奈禮居天
→
⑧十二

詞 || 言
・、一二口
|| 二二口
・、一二二二
|| 十六二二・、一四
ハ
|| 東和二二・、一四
話
|| 東和二二話・、一四
話

天地之詞

天 || お日さま
地 || 青空
|| ほっこり
之 || ヘノ二
|| 二二の二
|| 十六の二
|| 東和の二



東和

東和 || 東・禾・口

東 || 十口十小

禾 || ノ+ハ

|| ム

ロ || 二三

|| くり

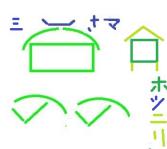
口

東和 || 庭床起
|| 庭床と起屋根の家

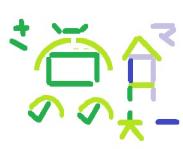


東和二話・一四話

東和一話 (ののさま ほっこり)



東和二話 (ののさま偉大)



和が国の万物の祖の音色
東和二話・一四話
ののさま ほっこり
ののさま偉大

雲霧 ①

雲霧

雲斬り

雲霧

雲雨

雲霧

雲霧

雲

雲霧

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

天

お日さま

天 || 太陽 (漢語)

天 || お日さま (和名)

天 || お日さま || お『ひ』さま

①絵日主さまの練習



②カタカナ || ハ

和かな || しの練習

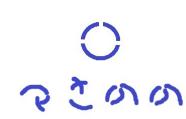
③合して『ひ』の練習

④お日さまの名前は? (大人)

ののさま!

(子供)

文字の教育



④お日さまの名前は? (大人)
ののさま!

(子供)

古新教育

古くて新しい教育

天＝太陽（漢語）

＝お日さま（和語）

①絵日主さま お絵書き

カナかな文字書き

②ハし ハ+し＝ひ

④ののさま 合字練習

マ　　さ　　の　　の

○
やさのの



そこに住む人は こんな感じ

ここに庭を眺める庭床をつけるとね
こんな家になるの

「ツ」が無いから

お「棟（とう）」さんから借りて来ます

いや

お「棟（とう）」三 から借りて来ます

よって
にこにこほつり



ニヒマツ

「ののさま」のお家

「ほっこり」教育

にこにこほつり

二二二二

十ハコリ

ホ　　こり

「ツ」が無い！

「ツ」が無いから

お「棟（とう）」さんから借りて来ます

いや

お「棟（とう）」三 から借りて来ます

①二二二二

②二二二二

十ハコリ

ホ　　こり

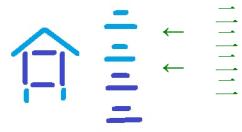
「ツ」が無い！

ホツコリ（借りて来る）

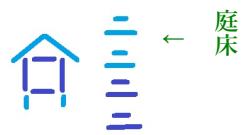
ほつこり 二二二二から生まる

にこにこ…二二二二から生まる

庭床を作る



庭床を読む

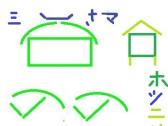


「ののさま」の家

① 完成図



② 読み取り図



ののさま
ののさま
ほっこり

お日さまの大きさ

お日さまは

今は 小さく見えますね

だけどもホントは ものすごく大きい

それを「偉大」と言ひます

でもちょっと書きづらいですね

だから お日さまは気遣つて

「偉大」を「一大」としてくれました

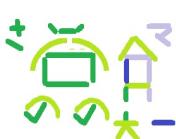
だから

「ののさま偉大」は

初めは

「ののさま一大」と書きますよ

ののさまのお家で書きますよ

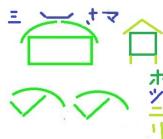




東和一話

ののさま ホツ二リ

← ←



ののさま ほっこり

「お日さま」と「青空」の上に
「高天が原」と言ふ原っぱがある
さう考ふる国なによ

そこはネ

お日さまを「偉大」だなあと
讃へるところ だから
「ののさま偉大」といふの
でもね その字が難しいから
初めはネ

「ののさま」大」と書くのヨ

ののさま (お日さま)
ほっこり (あをぞら)

お空を見上げてごらん

あの上に 見えないけれど

高天が原があつて

「ののさま」大・「ののさま」大」と

高天が原

よその国は知りませんが
私たちの国は

歌って踊って暮らしてゐるのヨ
空を仰げば：

鬼退治
鬼||しこ (和語)

歌って踊って暮らしてゐるのヨ
ののさま



し+こ＝？ (子供に尋ね)
||も
だから鬼退治は
何を斬るの？
「も」 (子供)

さあ 鬼退治に出かけますよ (大人)



こんな「お日さまの話」を
子供達に！

「ののさま」大」と書くのヨ

お空を見上げてごらん

あの上に 見えないけれど

高天が原があつて

「ののさま」大・「ののさま」大」と

鬼退治

ののさマ	ののもヘ
ののさま	… ①
二二三三一	へへ＝し し (縦直し)
二十六	＝ 十六
二ホ	＝ ホ
二ほ	＝ ほ
二ほつ	＝ ほつ
二こり	＝ こり
二ほつこり	＝ ほつこり
… ②	… ②



鬼退治

ののさま	ののもへ
ののさま	ののさま
いだ	いだ
偉大	偉大



室苔
②



ほつこり

至
ラジヨ

人犬
③

人ハハ
眉の姿詞ハ
八(四二)



絵体

ほこり ↑ ののせま



魔除け聲

眉毛聲 || まよけ聲 (まよ・眉古語)

|| 魔除け聲

← ←

ののさま

ほっこり

とてつもなく

人類にとって大きな発見と思はるも

寂しいかな

誰も興味を示さないのが実情だ

自然科学的に言ふと：

「お日さま」と「青空」の音色である

この音色は 地上では

誰が？ いや

何が？ 所有してゐるのか

人 || 犬

犬 || 大、しノ二

|| 題、しノ二

|| 詞、二

詞 || 二二口 · 二一、口

|| ニハ二三 · 二ト 二二一

|| 庭 三一 · 二トハ 、

|| 庭 王 · 二トハ 、

|| 庭 王 · 木と葉

西洋に「帝王」ゐるが

東洋に庭の「庭王」あり

自宅



自宅



塾

庭王

精 || 日ハ、王木

|| 庭 、王木

庭の精の木と葉

ののさま (庭の精)

ほっこり (その葉)

ののさま (庭の葉)

ほっこり (その葉)

ののさま (庭の葉)

ほっこり (その葉)

ののさま (庭の葉)

上末 ④

上 || ト一

|| 門一

|| あめつち

|| 天地

|| 青空 ×

ののさま 二

ののさま 三

ののさま 四

ののさま 一

ののさま 二

ののさま 三

ののさま 四

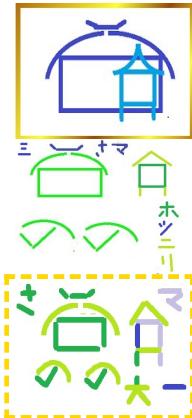
ののさま 一

ののさま 二

ののさま 三

ののさま 四

ののさま 一



由王さる

由王＝王 ヨシ

＝十 二四詩

＝二二ハ四詩

＝ヘイ和四詩

＝平和四詩

さる＝十 、しろ

＝二二、白

＝リン 、どんぐり

＝隣 、桺

ののさま

ほっこり 一詩

るさ
るいノリ

炉の草

さる＝ろ、し 、十

＝炉 、二二・ナ

＝炉の十十・奈

＝炉の草 、奈

奈＝大チハ

＝大地ノし

＝大地の二三

＝大地の十十

＝大地の草＝ ののさま



テ
チ

平和四詩 墾

ののさま 隣の桺

ほっこり その葉

ののさま 炉・大地の草

偉大 炉・隣桺の葉



塾

ののさま 隣の桺

ほっこり その葉

ののさま 炉・大地の草

偉大 炉・隣桺の葉

自宅

ののさま 隣の桺

ほっこり その葉

ののさま 隣の桺

偉大 大地の草



平和四詩 自宅

ののさま 隣の桺

ほっこり その葉

ののさま 隣の桺

偉大 大地の草



平和四詩 隣

ののさま 隣の桺

ほっこり その葉

ののさま 隣の桺

偉大 大地の草



昔 蓋有り 今蓋無し

ネット世界

6

十井の色葉

遠十一之

二井の二し色葉

十井の色葉二詩

十
井

十一

は	宇
な	於
あ	阿
や	也
か	伊
ま	ま
わ	わ
た	江
は	は

色葉二詩

紺の字紺の詩…和ブログ等
紺の詩色 葉…和たぐ新聞

ののさま

不二一、小

二、詩

紺の字縦の詩 || ののさき

於ハニシノニ、
ハくじのこへ
白地の聲
ほつこり

六字の聲は：

江ノ六

二
六字

偉大

乃。ノコヘは
ノの聲は

於 二 二 二 二
ハクジノコヘ
ハクジのこ
白地の聲
ほつこり

奈ハ一ハ二
ワシク二ハ
和二二二話
和たぐ二話
偉大

於 アリ

江
シ 六

和たぐ二話

和たぐ

^ロ\

△ロ\

^ニ

▽ニ

「和たぐ」を読む

ロ ロ 二シ・二三
二三二二ハシ・二六
た た ハシ・大
偉 大

ネット和文化

十井の字による

紺の字縦の詩||ののさま

白 地 || ほつこり

縦の詩色 葉||ののさま

和たぐ || 偉大

和たぐ新聞を作った時

凄いものを作ったといふ自負はあった

しかし 誰からも相手にされずに

時が過ぎ去って行く内に

自己満足だったのか？

さう思ふやうになつてゐたが

やはり

ネット和文化の最高峰に位置する
いいものだったと 再確認できた